取扱説明書

冷凍冷蔵庫
品番 SR-261T

もくじ

■この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」はご使用前に必ずお読みください。
■お読みになった後は、いつでも見られるところに保証書とともに大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

ご愛用者登録について

下記のURLよりご愛用者登録及びアンケートのご記入をお願いします。
http://products.jp.sanyo.com/support/user/index.html

据え付けから使用開始までの準備・・・

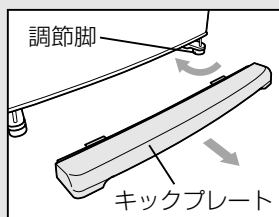
据え付け

熱気の少ない、風通しの良いところ
冷却力低下を防ぎ、電気代のムダをなくすため、コンロの横、直射日光の当たるところは避ける。

湿気の少ないところ
錆の発生や漏電を防ぎます。

最小必要設置スペースをあける
冷蔵庫は食品を冷やすため、周辺に熱を放出しています。図のように、上面10cm左右0.5cm以上あけて設置する。なお最小必要設置スペースは年間消費電力量の測定条件での寸法とは異なります。

丈夫な床に据え付ける
据え付けが不安定ですと、振動、騒音や故障の原因になります。また、じゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材などの上では、冷蔵庫の熱により変色することがあります。底に丈夫な板を敷く。

水平に固定する
両側の調節脚を回し必ず床に着け、水平に設置する。キックプレートは手前に引いてはずし、もとの位置に取り付ける。

転倒防止用ベルトをかける
地震などで、冷蔵庫が倒れるとけがの原因になります。背面のフックにベルトを通して、壁や柱に固定する。転倒防止用ベルト(別売品)は、お買い上げの販売店で型番6242020691をお求めください。

調節脚(左右)は矢印の方向に回すと前上がりになります。

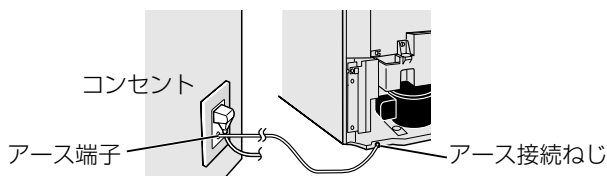
●アースをする

万一の感電事故防止のため、アース(接地)をおすすめします。
次の場所に据え付けるときは、お買い上げの販売店に相談して、必ずアース工事をしてください。
(アース工事は、有料です。)

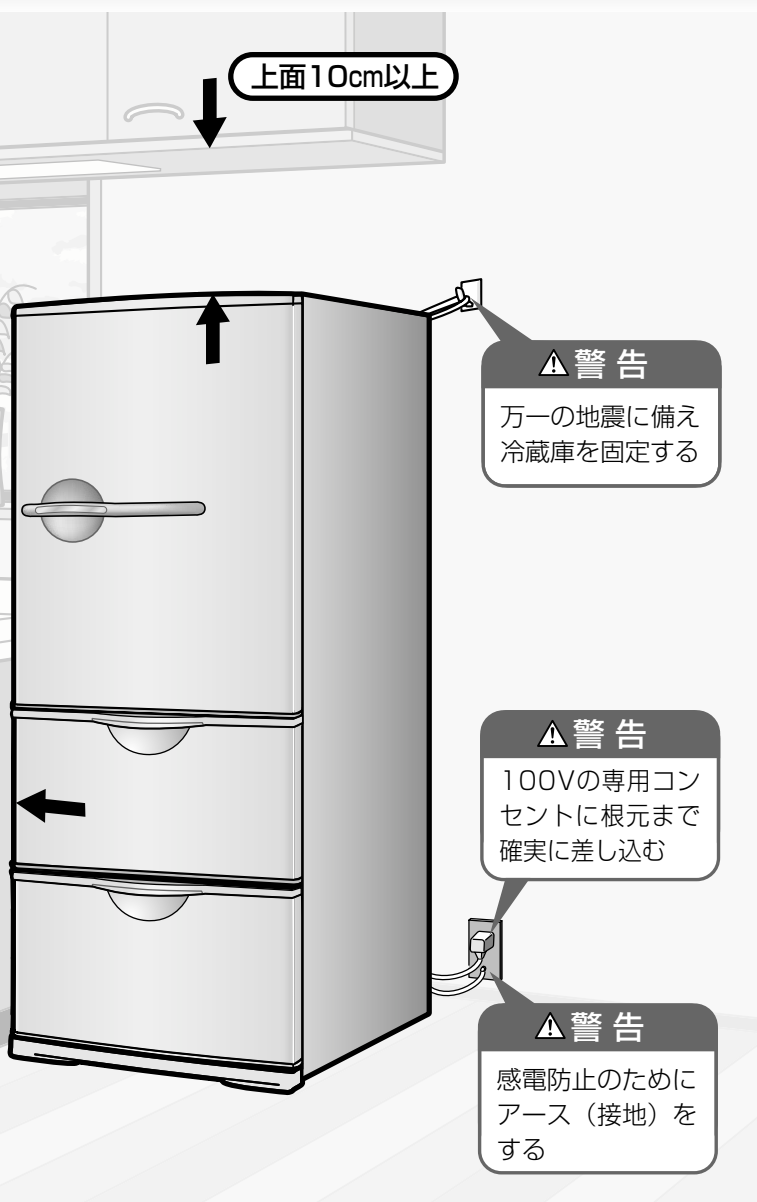
- ●土間や洗い場の床など水気のある場所
- ●地下室など、漏水や湿気により、露が付く恐れのある場所
- ●その他、湿気や水気のある場所

アース線は次のものには絶対に接続しないでください。
- ● 水道管　● ガス管(爆発の危険があります。)
- ● 電話のアース線や避雷針(落雷のとき大きな電流が流れ、危険です。)

アース線接続のしかた
アース線(別売)は背面下部にあるアース接続ねじに接続してください。

●コンセントにアース端子がある場合

●コンセントにアース端子が付いていないとき
お買い上げの販売店に依頼し、アース工事(D種接地工事)をしてください。

●漏電しゃ断器の取り付け
特に水気の多い場所に据え付ける場合は、アースのほか漏電しゃ断器の設置が義務付けられています。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

正しく安全な据え付けで、冷蔵庫は快適運転できます。

使用開始

据え付けが完了したら、さあ〜、運転です。

1 庫内を清掃します。
付属部品を確認し、柔らかい布で庫内を清掃。
（使い始めにプラスチックからにおいのする場合があります。念のためにおいがこもらない様に周囲の風通しを良くしてください。においはしだいに消えます。）

2 専用コンセントに接続します。
電源は100V、定格15A以上のコンセントに、根元まで確実に差し込む。
※電源プラグを抜いて再び差し込むときは9ページ参照。

3 十分冷えてから食品を入れます。
通常は2〜3時間、夏場など周囲温度の高いときは、4時間以上待ってから。
（冷えるまでは扉の開閉をひかえてください。）

- 冷蔵庫が壁にふれて振動音がするときや、壁材が黒く変色する場合は（圧縮機周辺の空気の対流によります）、冷蔵庫を壁から離してください。
- 腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯など錆びやすい場所に設置すると、配管パイプが腐食して冷えなくなることがあります。このような場所に設置する場合は、防せい処理をおすすめします。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 冷蔵庫の据え付け状況により、電話機・インターホン・ラジオ・テレビなどに雑音が入ったり、映像が乱れることがあります。このようなときは、冷蔵庫からできるだけ離してください。また、冷蔵庫をアース（接地）することをおすすめします。冷蔵庫の影響を受ける距離は、電波や設置の状態により異なります。

ノンフロン冷蔵庫について

- この冷蔵庫にはノンフロン冷媒とノンフロン発泡断熱材を使用しています。
  ノンフロン冷媒（イソブタン）とノンフロン発泡断熱材（シクロペンタン）は、オゾン層を破壊せず地球温暖化に対する影響が極めて小さい、地球環境に配慮した物質です。
- ノンフロン冷媒は可燃性です。「冷却回路」に密封されており、通常のご使用において漏れ出すことはありませんが、万一、冷媒回路を誤って傷付けてしまった場合、火気（電気製品）などの使用を避け、窓を開けて換気してください。その後、お買い上げの販売店へご連絡ください。

食品の貯蔵場所

冷蔵室（約3～5℃）、冷蔵室扉（約5～7℃）

調理済み食品・冷蔵小物・調味料・牛乳・ビール・ジュースなど（上段は、それぞれ1～2℃高めになります。）

フレッシュルーム（約－1～0℃）

刺身・鮮魚・肉
サラダ・ヨーグルト・練り製品・漬け物など

冷凍室（約－18℃）

冷凍食品・アイスクリーム・ホームフリージングした食品など

野菜室（約6～8℃）

野菜・果物類・ビン類・缶類・ペットボトル・調味料など

測定条件 ・・・周囲温度30℃、食品を入れずに扉を閉じ、庫内温度が安定したときの値です。

上手な使いかた

●食品を上手に入れて節電しましょう

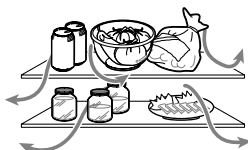
洗って、ふいて

野菜など、洗えるものは洗い、水気をふき取る。ビン類や包装類の汚れは、ふき取ってから貯蔵。

さましてから

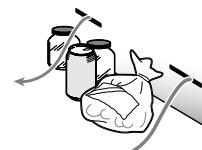
室温までさましてから入れると、庫内の温度を上げず、節電になります。

すき間をあけて

つめすぎると冷気の循環が悪く、冷えにくくなります。

小分けして

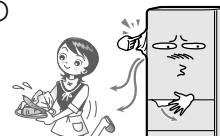
１回分ずつ小分けして入れると、使うとき便利で、すばやく取り出せます。

冷気の吹出口をふさがない

奥の壁から食品を離して入れ、冷気の循環をよくします。

扉の開閉はすばやく

節電のため、食品の出し入れは効率よく、手短に。

扉に物（ラップやビニール袋など）をはさまない

わずかなすき間でも、冷気流出のもと。

冷やしすぎない

温度調節位置を必要以上に“強”のままにしておかない。

冷蔵室の使いかた

テーブル
プラスチック製です。
（耐熱温度100℃・荷重30kgまで）

電子レンジ転倒防止金具用ビス目印（テーブルの後ろ側にあります。）
※詳しくは電子レンジ転倒防止金具の据付説明書を参照してください。

フリーポケット（小）

フリーポケット（大）

エッグポケット
卵皿が付いています。
卵皿を裏返すと、小物が入ります。

クリスタルトレイ

品質表示ラベル

ハーフスライド棚
食品の大きさに合わせて、2通りの使いかたができます。

ドレッシングポケット

フレッシュルーム

ボトルポケット

※転倒防止金具が取り付けられる電子レンジは一部のサンヨー商品のみです。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合せください。
※冷気の通路に脱臭フィルターとナノフェライト除菌フィルター＊1を設置。庫内のにおいを吸着・分解するとともにナノフェライト除菌フィルターで冷気通路の浮遊菌を分解し庫内を清潔に保ちます。
＊1　試験依頼先：財団法人　日本紡績検査協会　　試験の方法：フィルム密着法　　除菌の方法：フィルターへの除菌成分の担持
処理部品名：冷気ダクト内のフィルター　　試験結果：99.9%

●ハーフスライド棚・フレッシュルームケース

●広い棚で使う

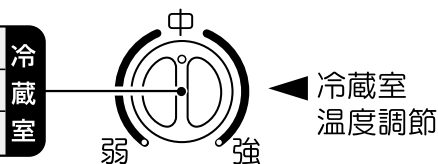
●半分の棚で使う
手前の棚を押し込むと、手前には大きな食品、奥には小物が置けます。

●フレッシュルームケース
引き出し式です。奥まで確実に押し込んでください。

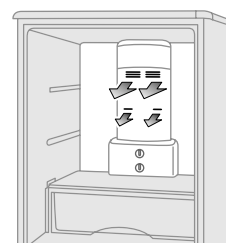
冷凍はしたくないけれど冷蔵室より長く保存したい食材は、凍る直前の温度帯フレッシュルームへ。

解凍の手間もいらず鮮度も長持ちします。

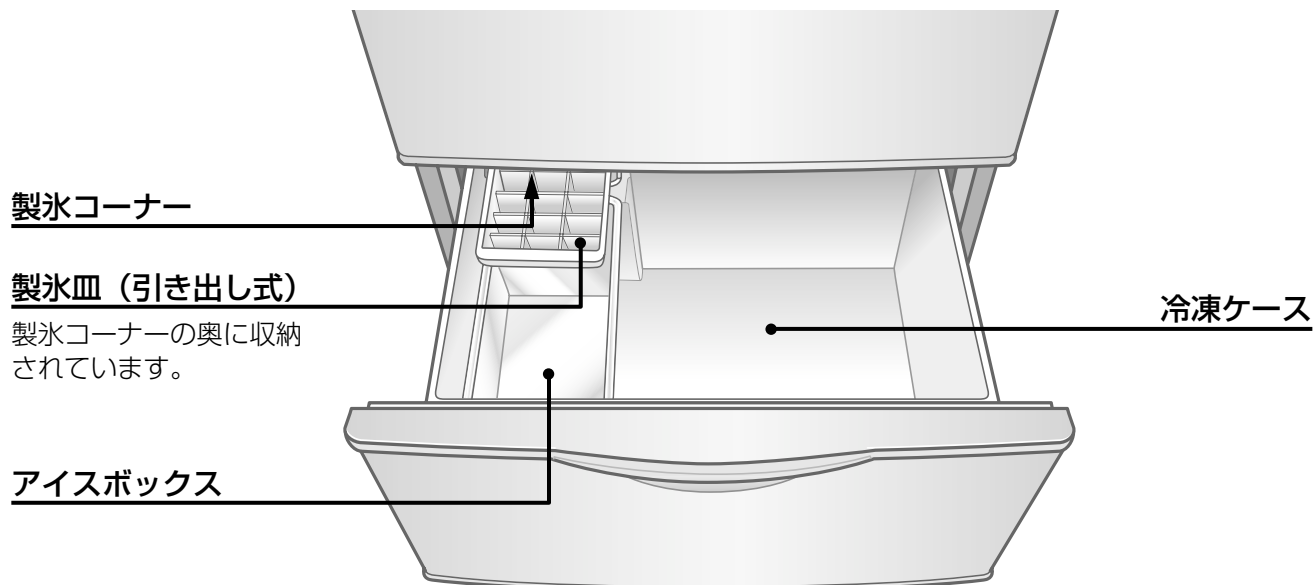
●温度を変えたいときは・・・冷蔵室奥にあるつまみを調節する。

		冷蔵室
「中」より2～3℃低くなります。	強	
約3～5℃	中	
「中」より2～3℃高くなります。	弱	

●普段は温度調節つまみを「中」の位置でお使いください。
●冷蔵室の温度調節を「強」にしても冷えが弱いときは、冷凍室の温度調節を「強」側にします。
●フレッシュルームの温度は、周囲温度や冷蔵室温度調節の位置により変わることがあります。

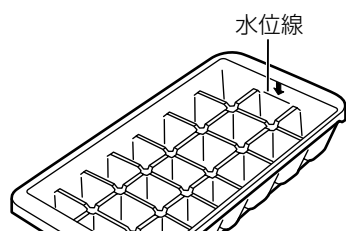
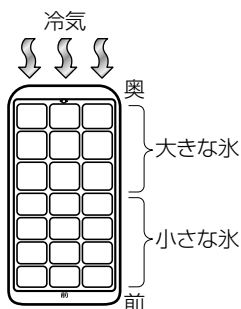
⚠注意　食品をつめすぎたり、棚より前に出さない。
扉が閉まらなくなったり、食品が落下し、けがをすることがあります。

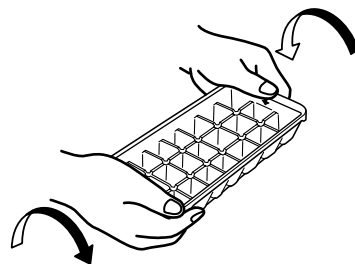
●冷気吹出口から右図のように冷気が流れ出ます。吹出口付近では食品が凍結することがありますので、吹出口から離して貯蔵してください。
●周囲温度が5℃以下になったとき、冷蔵室の食品が凍結することがあります。
⇨このときは、冷蔵室の温度調節を「弱」側にすると凍りにくくなります。
●扉ポケットの上段（フリーポケットなど）に、背の高い食品を入れないでください。扉の開閉で倒れることがあります。
●庫内のにおいを吸着・分解する脱臭機能がフレッシュルーム奥に付いていますが、におい移りや乾燥を防ぐため、においの強い食品、水気の多い食品はラップをして貯蔵してください。

冷蔵室冷気吹出口図

冷凍室の使いかた

旬のおいしさを、長く楽しみたい。そのような食材は、冷凍室で長期保存を。

●氷のつくりかた

<氷をつくるとき>

1 製氷皿に水を入れる：水位線まで

2 製氷皿を製氷コーナーに入れる：
前後をまちがえないように
※氷を均一に凍らせるため奥側は大きく前側は小さな氷ができます。

<氷を取り出すとき>

1 製氷皿の両端を持って、軽くひねる

2 アイスボックスで保存する。

●温度を変えたいときは・・・冷蔵室奥にあるつまみを調節する。

		冷凍室
「中」より2〜3℃低くなります。	強	
約－18℃	中	
「中」より2〜3℃高くなります。	弱	

中
弱
強
◀フリーザー温度調節

●普段は温度調節つまみを「中」の位置でお使いください。
●冷凍室の温度調節を「弱」にしておくと、他の室の温度が高めになることがあります。このときは、冷蔵室の温度調節を「強」側にします。

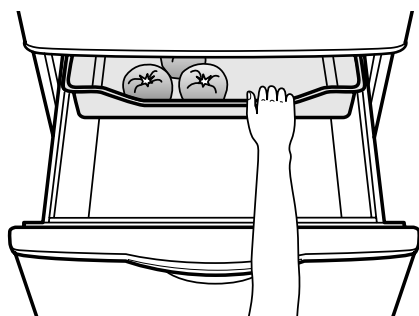
⚠注意	
	冷凍室にビン類や缶類を入れない。中身が凍って割れ、けがをすることがあります。
	冷凍室内の食品や容器（特に金属製）に、ぬれた手でさわらない。 凍傷になる恐れがあります。

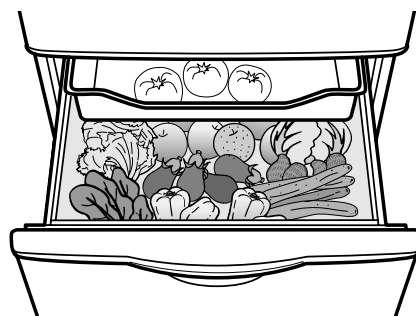
●水を製氷皿の水位線より多く入れないでください。氷が離れにくくなります。
●アイスボックス、冷凍ケースなどで製氷しないでください。割れることがあります。

野菜室の使いかた

ビタミンや植物繊維の多い新鮮野菜の貯蔵は野菜室へ。

●バスケット

つぶれやすいトマトや小さい果物·野菜の収納に便利です。

●野菜ケース

大きめの野菜や果物が入ります。

●水洗いした野菜は、水気をよくきってから入れましょう。
●野菜ケースの底に溜まった水は、ふき取ってください。
●周囲温度が5℃以下になったとき、野菜室の食品が凍結することがあります。
　⇨このときは、冷蔵室の温度調節を「弱」にすると凍りにくくなります。

○野菜や果物は、ラップして貯蔵すると、新鮮さがさらに長持ちします。
　また、においの強い食品からのにおい移りを防ぎます。
○野菜室は湿度を高く保っているため、露が付くことがあります。露が付いたときはふき取ってください。

お手入れと付属品のはずしかた

●清潔にお使いいただくため、月に一度はお手入れしてください。
●貯蔵食品は取り出してください。
●はずした棚やポケット類は水洗いできます。
●取り付けかたは、はずしかたの逆の順序で行ってください。

⚠警告	お手入れするときは、電源プラグを抜いてください。また、ぬれた手でプラグを抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。
	冷蔵庫に直接水をかけないでください。錆びたり、漏電や故障の原因になります。

⚠注意	冷蔵庫の底面に手を入れないでください。金属の角などで、けがをすることがあります。

お手入れの方法

●軽い汚れはカラぶきをする。
●落ちにくい汚れは

1 薄めた食器洗い用中性洗剤を布に含ませ、ふき取る。(原液を使用すると、プラスチックが割れることがあります。洗剤の薄めかたは、その注意書に従ってください。)

2 食器洗い用中性洗剤使用後は、必ず布に水を含ませ、洗剤をふき取る。

3 カラぶきをし、水気をふき取る。

お手入れのポイント

庫内
水を含ませた布で、上面、側面、下側をカラぶきする。プラスチック部品に付いた食用油、バターなどの油脂類は、必ずふき取る。付いたままでは、割れることがあります。

温度調節部
柔らかい布でカラぶきする。水をかけないでください、故障の原因になります。お手入れ後は、温度設定位置などが動いていないか確認する。

扉パッキング
扉パッキングにジュースや食品の汁が付くと、ベト付き、傷みやすくなります。下側のパッキングが、特に汚れやすいので、念入りに清掃を。

ケース類
ふき取るか、ときどきケース全体を取り出して水洗いをする。(特に、野菜ケースの汚れは、においやカビが発生しやすくなります。)

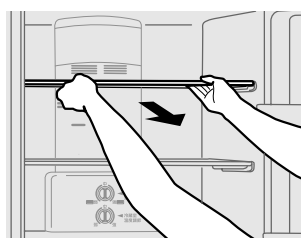
冷蔵庫背面／床／壁（年1回程度）
調節脚が床から浮くまで回し、傷付きやすい床の場合は、保護のため板などを敷いて、冷蔵庫を静かに前に引き出す。掃除機などで背面、床、壁の汚れやほこりを掃除する。
※背面、床、壁は空気の対流により、ほこりが溜まったり、黒く汚れやすいところです。

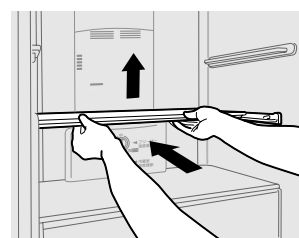
お手入れ後の安全点検

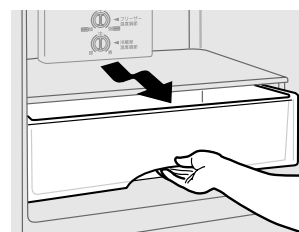
●電源プラグをコンセントにしっかり差し込みましたか？
●電源コードにきれつや、すり傷はありませんか？
●電源プラグに異常な発熱がありませんか？
・・・電源コード・プラグの傷付きや、ほこりが溜まっていると、感電や火災の原因になります。もし、不審な点があれば、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

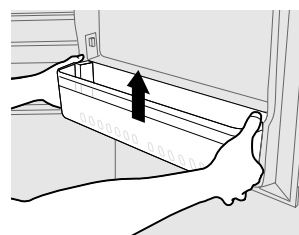
●みがき粉（クレンザー）・粉石けん・アルカリ性洗剤・タワシ・ベンジン・シンナー・アルコール・石油・酸・熱湯などは、塗装面や扉パッキングを傷めたり、プラスチックが割れたりしますので、使用しないでください。化学ぞうきんを使用するときは、強くこすらないで、化学ぞうきんの注意書に従ってください。

●クリスタルトレイ

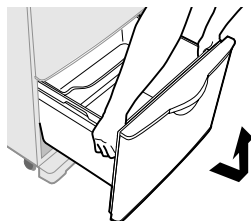
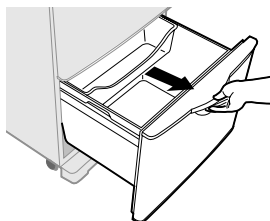
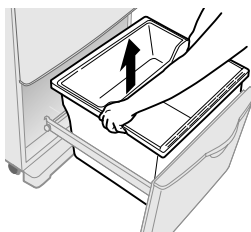
トレイの手前を持ち、引き出す。

●ハーフスライド棚

手前の棚を少し持ち上げながら奥へ押し込む。棚を重ねたまま持ち上げてはずす。

●フレッシュルームケース

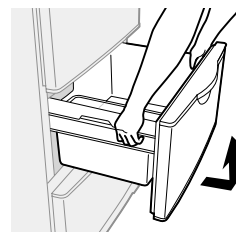
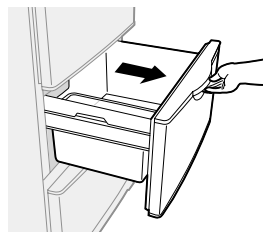
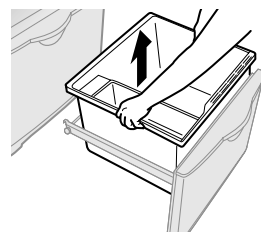
ストップするまで、手前に引き、ケースの手前を持ち上げながら、さらに引き出してはずす。

●冷蔵室ポケット類

両手で持って、上方に突き上げて、はずす。
※ボトルポケットをはずすときは、先にドレッシングポケットをはずしてから取りはずす。

●野菜ケース／野菜室扉

1 扉をストップするまで、手前に引き出す。

2 左右のレールを持って、手前を持ち上げながら、野菜ケースごと取り出す。

3 扉をはずした後、野菜ケースを持ち上げてはずす。

●冷凍ケース／冷凍室扉

1 扉をストップするまで、手前に引き出す。

2 左右のレールを持って、手前を持ち上げながら、冷凍ケースごと取り出す。

3 扉をはずした後、冷凍ケースを持ち上げてはずす。

こんなときには

●移動・運搬をするとき
～必ず電源プラグを抜いてください～

■ 移動・運搬する前に

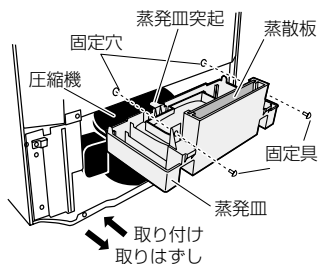
1 庫内の食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し、扉を開け乾燥させる。

2 1ページを参考にして、左右の調節脚を床から浮かせ車輪を床に着ける。

3 背面下部にある蒸発皿の水を捨てる。

<取りはずしかた>

①固定具を引き抜く。
固い場合は、ペンチなどをお使いください。

②蒸発皿の左右を持ち手前に引く。

<取り付けかた>

①蒸発皿の突起を、固定穴に合わせて押し込む。
蒸発皿は奥側を上げながら確実に挿入する。（挿入が悪いと、ビビリ音が出ます。）

②固定具を強く押し付けて取り付ける。

※蒸散板をお手入れの後は、もとの位置にもどす。

■ 移動・運搬のしかた

1 車輪を使い、前後に動かせます。（傷の付きやすい床では、車輪を使わない。）

2 運搬は、必ず下部前脚と背面上部を持ってください。
（手をすべらせ、けがをすることがあります。）

3 転宅などで運搬するときは、横積みしない。故障の原因になります。

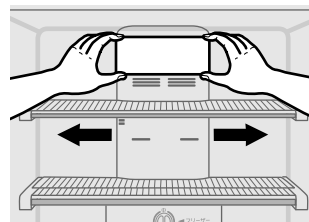
※この冷蔵庫は50／60Hz（ヘルツ）共用です。

⚠注意	圧縮機に手をふれないでください。熱くなるので、やけどの恐れがあります。

●庫内灯の交換

⚠警告	感電を防止するため、必ず電源プラグを抜いてください。

1 電源プラグを抜く。

2 カバーの左右を広げるようにしながら、手前に引く。

庫内灯電球は
型名：「110V 10W ガラス球形式T20、
口金E－12」

別売品はお買い上げの販売店で型番6242025979をお求めください。

●電源プラグを抜いて再び差し込むとき

5分以上、間をおいてください。すぐに差し込むと、圧縮機に無理がかかり、故障の原因になります。

●停電のとき

庫内温度が上がらないように、扉の開閉をひかえ、食品を新たに貯蔵しない。

●長期間使わないとき

食品を取り出し、電源プラグを抜いて庫内を清掃し2～3日間扉を開け乾燥させる。

●保冷枕など市販の寒冷剤を冷蔵庫に入れるとき

袋の破れに注意する。破れて硝安、尿素などの中身が漏れると、錆や故障の原因になります。

仕様

種類	冷凍冷蔵庫
品番	SR−261T
定格内容積	255L（冷蔵室 165L／冷凍室 45L（29L）／野菜室 45L（30L））
外形寸法（ハンドル含まず）	幅596mm×奥行き656mm×高さ1405mm
定格電圧・周波数	100V・50／60Hz
電動機の定格消費電力	95／100W
電熱装置の定格消費電力	130／130W
消費電力量	冷蔵室扉内側の品質表示ラベルに表示
冷凍室の性能	＊＊＊＊（フォースター）
質量	60kg

※定格内容積の（　）内は「食品収納スペースの目安」です。
※製品改良のため、仕様が変わることがあります。ご了承ください。
※本品は、日本国内家庭用の製品です。他用途には使用しないでください。
　また、国外での使用はできません。　(FOR USE IN JAPAN ONLY)

●付属品

冷蔵室	クリスタルトレイ	1
	ハーフスライド棚	1
	フレッシュルームケース	1
	フリーポケット（小）	1
	フリーポケット（大）	1
	エッグポケット	1
	卵皿	1
	ドレッシングポケット	1
	ボトルポケット	1
冷凍室	冷凍ケース	1
	アイスボックス	1
	製氷皿	1
野菜室	野菜ケース	1
	バスケット	1
	キックプレート	1
	蒸発皿	1
	調節脚	2

（フリーポケット（小）とエッグポケットは
同一形状です。）

●冷蔵庫の定格内容積について

●定格内容積は、日本工業規格（JIS C 9801）に基づき、庫内部品の内、冷やす機能に影響なく、工具無しにはずせる棚やケース等を、はずした状態で算出したものです。
この定格内容積には、食品収納スペースと冷気循環スペースとを含みます。
●引き出し式貯蔵室（野菜室、冷凍室）の場合、定格内容積と併せ食品収納スペースの目安を表示しています。なお、回転扉式冷凍室の食品収納スペースについては、冷気の循環を考慮して定格内容積の65%程度を目安としてください。食品の詰め込み過ぎは、庫内の冷えむらや電気のムダの原因となります。

●庫内温度の計りかた

冷蔵庫は、厳重な品質管理の下で生産していますが、庫内の温度は、冷蔵庫の据え付け状態や外気温、使用条件などにより変化します。しかし、中の食品は8割前後が水分であるため、比熱が大きく、その温度は空気のように大きく変化はしません。従って、一般の空気温度を計る温度計では変化の少ない食品温度の測定ができません。そこで、空気温度の影響を受けにくく、食品に近い温度を示す冷蔵庫用温度計を発売しています。ご購入の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、一般のアルコール温度計で冷蔵庫内の食品相当温度を計る場合は、冷蔵庫中段の棚の中央に約100mlの水を入れた容器を置き、感温部を水中に3時間程度浸しておきますと、食品に近い温度が得られます。

●自動霜取り

霜取りの操作は不要です。
●霜取り水は蒸発皿に溜めて、蒸発させます。
●霜取り時も食品を取り出す必要はありません。

この製品は法律で表示を義務づけられた特定の化学物質【注1】を含有しておりません【注2】。
（JIS C 0950の電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法に従って表示しております）
【注1】「鉛及びその化合物」、「水銀及びその化合物」、「カドミウム及びその化合物」、「六価クロム化合物」、「ポリブロモビフェニル」および「ポリブロモジフェニールエーテル」の6種類の化学物質
【注2】対象の化学物質の含有率が基準値以下であることを意味します。また、除外項目は対象としておりません。
http://sanyo.com/environment/jp/

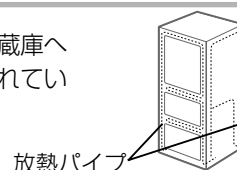
故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度確認してください。

●状況	●調べる ……… 処置方法
全く冷えない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか？………確実に差し込む。 ●ブレーカーや電源ヒューズが切れていませんか？………扉を開け、庫内灯が点くか確認する。 ●停電ではありませんか？
冷えが弱い	●温度調節が「弱」のままではありませんか？………「中～強」にする。 ●食品のつめ過ぎや熱いものが入っていませんか？………熱いものは冷ましてから入れる。 ●ひんぱんに扉を開けたり、食品の袋などがはさまり扉にすき間ができていませんか？………扉を確実に閉める。 ●直射日光が当たったり、そばにコンロやガスレンジがありませんか？………熱源から離して設置する。 ●周囲の風通しが悪くはありませんか？………すき間を開け、風通しをよくする。
冷蔵室・フレッシュルーム・野菜室の食品が凍る	●温度調節が、「強」のままではありませんか？………「中～弱」にする。 ●周囲の温度が5℃以下ではありませんか？………「中～弱」にする。 ●水気の多い食品を棚の奥（冷気の吹出口付近）に入れていませんか？………手前に入れる。
音がうるさい	●床が弱く、ゆがんでいませんか？………丈夫な板を下に敷く。 ●据え付けが悪く、ガタついていませんか？………調節脚で調節する。 ●壁にふれていませんか？………壁から離す。 ●周囲に物が落ちて、ビビリ音を出していませんか？………取り除く。 ●後ろ側にある蒸発皿がはずれていませんか？………蒸発皿を確実に取り付ける。
庫内のにおいが気になる	●冷気の吹出口や吸込口がふさがっていませんか？………ふさがない。 ●においの強い食品をラップしないで入れていませんか？………ラップする。

以上のことを調べて、それでも具合が悪いときは、お買い上げの販売店または当社「お客さまご相談窓口」（裏表紙）に相談してください。

これは故障ではありません

●状況	●理由
水の流れるような音（チョロチョロ、シューシュー）や沸とうするような音（ボコボコ）がする	●冷蔵庫を冷やす液（冷媒）が流れる音です。 停止中も出ることがあります。
きしむような音（ビシッ、バシッ）がする	●庫内のプラスチック部品が膨張や収縮して、発生する音です。
冷蔵庫の外側や扉パッキングに露が付く	●梅雨など湿度の高いときに付くことがあります。 これは、冷水を入れたコップの外側に水滴が付くのと同じです。 露は乾いた布でふき取ってください。
冷蔵庫の前面、側面、背面が熱く感じる	●夏場や運転の初めには特に熱く感じます。これは冷蔵庫への露付きを防止するパイプや放熱パイプが組み込まれているからです。 庫内食品には影響ありません。 放熱パイプ

保証とアフターサービス

使用中に異常が生じたときは、安全のため電源プラグを抜き
お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

●知らせていただきたいこと

①故障の状況（できるだけ詳しく）
②品番
③製造番号
④お買い上げ年月日
（②〜④は保証書に記入してあります。）
⑤お名前・おところ・電話番号
⑥訪問日

●アフターサービスでお困りの場合

●修理のご相談やご不明な点は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。また、転居や贈答品などでお困りの場合は、当社「お客さまご相談窓口」（裏表紙）にお問い合わせください。

●保証書（別添付）

●この商品には保証書が付いています。
●販売店が所定事項を記入してお渡ししますから、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
●なお、食品の補償など、製品修理以外の責はご容赦ください。

●保証期間

●お買い上げ日から１年間です。
ただし、冷媒循環回路（圧縮機・凝縮器・冷却器・毛細管・配管）冷気循環用ファン及びファンモーターは5年間です。

●保証期間中の修理は

●修理の際には、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従い販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎている時の修理は

●お買い上げの販売店にご相談ください。
修理をすれば使用できる場合は、お客さまのご希望により有料修理いたします。

●補修用性能部品の保有期間

●当社は、この冷蔵庫の補修用性能部品を製造打切後、9年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

冷凍室（フリーザー）の性能

この冷蔵庫の冷凍室の性能は、 ＊＊＊＊ （フォースター）です。

冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C 9607）に定められた方法で試験したときの、冷凍室内の冷凍負荷温度（食品温度）によって表示しております。

●ＪＩＳの試験方法は、次の通りです。
① 冷蔵室内温度が、0℃以下とならない範囲で最も低い温度になるように温度調節して試験します。
② 冷蔵庫の据え付け場所の温度は15〜30℃の範囲を基準としています。
③ 冷凍室定格内容積100Ｌ当り4.5kgの食品を24時間以内に－18℃以下に凍結できる冷凍室を、フォースター室としています。

●冷凍食品の貯蔵期間
冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なり、右の表の期間は一応の目安です。

記　号	＊＊＊＊ フォースター
冷凍負荷温度（食品温度）	－18℃以下
冷凍食品の貯蔵期間の目安	約3カ月

安全上のご注意・・・必ずお守りください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになって、正しくお使いください。

●冷蔵庫を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項です。誤った取り扱いをすると生じる危険と、その程度を、「警告」と「注意」に表示しています。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性に結び付くもの
⚠注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生に結び付くもの

●表示と意味は以下のようになっています。

「禁止」(してはいけないこと)を表します。	必ずして欲しい行為を表します。
水をかけたり、水でぬらさないでください。	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
ふれないでください。	必ずアース線を接続してください。
分解しないでください。	

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

冷媒について

禁止

冷蔵庫本体の冷却回路(配管)を傷付けない
可燃性の冷媒を使用していますので、発火・爆発の恐れがあります。

すき間をあけて

冷蔵庫の周囲はすき間をあけて据え付ける
冷媒が漏れると滞留し、発火・爆発の恐れがあります。

禁止

庫内では電気製品を使用しない
冷媒が漏れていると電気製品の接点の火花で発火・爆発の恐れがあります。

換気する

冷却回路(配管)を傷付けたときや可燃性ガスが漏れているのに気付いたときは、冷蔵庫にふれず火気の使用を避け窓を開けて換気する
電源プラグの抜き差しなど火花で発火・爆発し、火災ややけどの原因になります。

電源プラグ、電源コードの点検

必ず実施

電源は交流100Vの専用コンセントを使う
100V以外では火災・感電の原因になります。

必ず実施

コンセントは15A以上のものを単独で使う
他の器具と併用したタコ足配線は発熱し発火の原因になります。

必ず実施

電源プラグは、ほこりを取り、刃の根元まで確実に差し込む
ほこりが付着したり、不十分な差し込みは、発熱し発火の原因になります。

必ず実施

電源プラグはコードが下向きになるよう差し込む
逆に差し込むとコードに無理がかかり、ショート・過熱し、感電・発火の原因になります。

禁止

電源プラグを冷蔵庫で押し付けない
変形させたり傷を付けると、発熱し発火の原因になります。

禁止

電源コードは傷付けない
踏み付けたり、加工したり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりすると、電源コードが破損して、火災や感電の原因になります。

禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

もしものとき

電源プラグを抜く

異常時(焦げくさいなど)は、電源プラグを抜き運転を中止する
異常のまま運転を続けると、感電や火災の恐れがあります。

必ず実施

ガス漏れに気付いたら、冷蔵庫やコンセントには手をふれず、窓を開け換気する
冷蔵庫を開けたり電源プラグを抜くと、電気接点の火花等で引火爆発し、火災ややけどの危険があります。

保管できないもの

禁止

引火しやすいものは入れない
エーテル、ベンジン、LPガス、アルコール、接着剤などは入れない。爆発する危険があります。

禁止

医薬品や学術試料の保存はしない
家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

お手入れのとき

電源プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグを抜く
ぬれた手で抜き差ししない。感電やけがをすることがあります。

⚠警告

修理、廃棄のとき

電源プラグを抜く

庫内灯を交換するときは、電源プラグを抜く
抜かずに行うと、感電する恐れがあります。

必ず実施

リサイクルの時など、保管時の幼児閉じ込みが懸念される場合は扉パッキングをはずす
再資源化のために、主なプラスチック部品には、材料名を表示しています。

禁止

分解したり修理改造は絶対にしない
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

冷蔵庫使用のとき

禁止

可燃性スプレーは近くで使わない
引火ややけどの危険があります。

禁止

上に水の入った容器を置かない
こぼれた水で絶縁が悪くなり漏電・火災の恐れがあります。

禁止

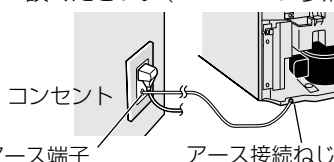
水をかけない
電気部品に水がかかると、ショートや感電の恐れがあります。

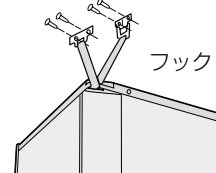
禁止

扉やハンドルにぶらさがったり、乗ったりしない
冷蔵庫が倒れたり、手をはさんでけがをすることがあります。

据え付けのとき

アースをする

アースをする
故障や漏電のとき、感電する恐れがあります。アースの取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。（1～2ページ参照）

必ず実施

万一の地震に備えて、冷蔵庫を固定する
冷蔵庫が倒れるとけがの原因になります。（1～2ページ参照）

⚠注意

冷蔵庫使用のとき

必ず実施

引き出し式の扉を閉めるときは、とっ手を持って閉める
扉の上側を持って閉めると、指をはさみけがをする恐れがあります。また他の人が冷蔵庫の近くにいるときは、扉で指をはさまないように気を付ける。

禁止

食品をつめすぎたり、棚より前に出さない
背の高い倒れやすい食品は入れない。扉が閉まらなくなったり、食品が落下し、けがをすることがあります。

禁止

冷凍室内の食品や容器（特に金属製）にぬれた手でさわらない
凍傷になる恐れがあります。

禁止

後ろ側下部の機械部分（圧縮機など）や底面に手をふれない
運転中は熱くなるので、やけどの恐れがあります。
また鉄板によりけがをすることがあります。

禁止

におったり、変色した食品は食べない
腐敗により、病気の原因になることがあります。

保管できないもの

禁止

冷凍室にビン類や缶類を入れない
中身が凍って割れ、けがをすることがあります。

据え付け場所

禁止

湿気の多い場所、水のかかる場所への設置は避ける
絶縁が悪くなり、漏電の原因になります。

運搬のとき

必ず実施

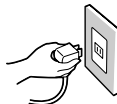
冷蔵庫を運搬するときは、下部前脚と背面上部を確実に持って運搬する
手をすべらせ、けがをすることがあります。

禁止

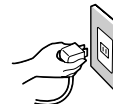
傷付きやすい床の上では、移動車輪は使用しない
床材を傷付ける恐れがあります。

電源プラグの抜き差し

必ず実施

電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行う
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードが破損し感電やショートして発火する恐れがあります。

長期間使用しないとき

電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化などにより感電・火災の原因になることがあります。

お客さまご相談窓口

●まずはお買い上げの販売店へ…

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。
転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合せください。

◆総合相談窓口　三洋電機(株)お客さまセンター

受付時間　9：00～18：30（365日）

家電製品についての全般的なご相談は、
下記電話番号にお問い合わせください。

総合相談窓口　☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は
大阪（06）6994-9570 へおかけください。

郵便・ＦＡＸでご相談される場合は

◆三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677　大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX　大阪（06）6994-9510

持ち込み修理および部品についてのご相談

■三洋電機サービス(株)

受付時間　月曜日～土曜日(日曜、祝日、当社休日を除く)
9：00～17：30

※持込み修理および部品については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っています。

上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

■修理サービス相談窓口　三洋電機サービス(株)

受付時間　月曜日～金曜日　9：00～18：30
（7月～8月　8：45～19：30）
土曜・日曜・祝日・当社休日　9：00～17：30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げの販売店
または下記電話番号にお問い合わせください。

東京コールセンター　※050がご利用できない場合は 東京（03）5302-3401へおかけください。

地区	電話番号
関東・甲信越地区	☎ 050-3116-2222
北　海　道　地　区	☎ 050-3116-2333
東　北　地　区	☎ 050-3116-2444

大阪コールセンター　※050がご利用できない場合は 大阪（06）4250-8400へおかけください。

地区	電話番号
近畿・北陸・四国地区	☎ 050-3116-2555
中　部　地　区	☎ 050-3116-2666
沼　津　地　区	☎ 050-3116-2222
中　国　地　区	☎ 050-3116-2777
九　州　地　区	☎ 050-3116-2888

沖　縄　地　区　☎ 098-944-5018
受付時間　月曜日～土曜日(日曜、祝日および当社休日を除く)
9：00～17：30

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡いただいた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

＜利用目的＞
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://jp.sanyo.com をご覧ください。

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客さまがご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引渡すことが求められています。

愛情点検　長年ご使用の冷蔵庫の点検を！

このような症状はありませんか？	■電源コード、プラグが異常に熱い。 ■電源コードに深い傷や変形がある。 ■焦げくさいにおいがする。 ■冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。 ■ビリビリと電気を感じる。 ■その他の異常や故障がある。	➡	使用を中止してください	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

お客さまメモ

購入年月日、購入店名を記入してください。サービスを依頼されるときに便利です。

品　　番		購入店名	
購入年月日	年　　月　　日		ＴＥＬ（　　　）　　－

三洋電機株式会社

三洋電機コンシューマエレクトロニクス株式会社
家電事業部
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号

2FB6P101354000